学校番号	3005

令和２年度　地理・歴史　科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　改訂版　世界史Ａ（第一学習社）						
副教材等	地歴高等地図（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史に対する興味や歴史学習にかかわる基本的な技能により、学習内容の確かな定着を図ります。さらに、歴史的な見方や考え方が身近になるように、諸資料を活用して世界史を考察し表現する学習を採り入れます。

歴史事象と現在の自分との結びつきを考える学習を通じて、歴史に対する関心や問題意識を高め、歴史を学ぶ意義を考えます。

近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連した主題を設定し、資料を活用して探求し、その解決に向けた考えを表現する学習を採り入れます。

２　学習の到達目標

世界史を、日本史や地理との関連を重視しつつ、現代の諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、調べ考えることを重視して、歴史的な見方や考え方を身につける。歴史的な思考力を育成し、国際社会に主体的に生き平和的で民主的な社会を形成する地球市民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とするわが国の歴史に対する関心と問題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き、平和的・民主的な社会を形成する責任を自覚している。	歴史の展開から課題を見出し、わが国の生活・文化の特色を、世界史的視野に立ち多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ、公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、効果的に活用している。	わが国の歴史の展開と生活・文化の特色について基本的事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	レポート など	定期考査 レポート 発表 など	定期考査 レポート 発表 など	定期考査 小テスト など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	世界史へのいざない	・自然環境と歴史 ・日本列島のなかの世界の歴史	○ ○	 ○	○	○ ○	a:身近な事柄を通じて歴史的展開に対する関心・課題意識を持ったか。 b:歴史的・地理的に考察・判断し、その結果を適切に表現しているか。 c:有用な資料を適切に読み込めたか。 d:自分自身の経験と関連させながら身近な社会の歴史を理解したか。	授業態度 話し合い 定期考査
	世界の一体化と日本	・ユーラシアの諸文明 ・結びつく世界と近世の日本 ・ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 ・アジア諸国の変貌と近代の日本	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:モンゴル帝国以降の世界が一体化していくことについて関心をもって取り組めたか。 b:大航海時代の歴史的意義について多面的に考察できたか。 c:課題を設定し、適切な情報の収集や調査をおこなったか。 d:世界の一体化以降の政治体制・経済状況を理解できたか。	授業態度 話し合い 課題提出 発表 定期考査
後期	地球社会と日本	・帝国主義の時代 ・急変する人類社会 ・世界戦争と平和	○ ○ 	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:２つの世界戦争期における世界的な民衆運動・民族運動の展開などについて意欲的に考察したか。 b:歴史的過程としてのこの時代の特色を多面的に考察し、公正に判断できたか。 c:この時代の歴史的資料を収集し、読み解けたか。 d:ブロック経済・ファシズムの台頭など、民衆運動・民族運動などの歴史的な展開を理解しているか。	授業態度 話し合い 小テスト 課題提出 定期考査

	地球社会と日本	・三つの世界と日本の動向 ・地球社会への歩みと課題 ・持続可能な社会への展望 ・現代からの探求 現在の世界がかかえる諸課題を追求し、成果をまとめて発表する。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a:戦後世界の特色が形作られてきた経過の探究について意欲的に取り組んだか。 b:現代世界が抱える諸課題を見出し、歴史的・多面的に考察し、公正に判断して発表できたか。 c:有用な資料を収集し、活用できたか。 ｄ：経済・政治の変遷、国際社会の変化、経済のグローバル化に伴う国際社会が理解できたか。	授業態度 話し合い 小テスト 課題提出 発表 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。